平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	会社簿記 (Corporate Bookkeeping)		授業コード	E007751	
担当教員名			科目ナンバリン グコード	E20609	
配当学年	2	開講期	後期		
必修•選択区分	選択	単位数	4		
履修上の注意また は履修条件	日商簿記3級の知識を前提として進め 単位を取得していること』が履修の条件 2/3以上の出席がなければ試験を受験 本講義では毎回スマホアプリを使用し い。これらのトラブルによる不利益には	‡です。 タすることはできませ。 ます。 <i>バッテリー切れ</i>	ん。		
受講心得	1. 毎回必ず出席してください(授業開始によなります)。 2. 電卓を必ず持参してください。 3. 教科書を必ず購入してください。 4. 予習・復習を必ず毎回してください。 5. 授業で使用するスライドは、環境へ供しますので、各自でダウンロードもし	の配慮から個別配付	はしません	ん。各回終了後	
教科書	TAC簿記検定講座『合格テキスト 日商 *必ずこの版を購入してください。	簿記2級 商業簿記 [、]	Ver.12.0 』	TAC出版、201	7年。
参考文献及び指定 図書	TAC簿記検定講座『合格トレーニング *必ずこの版を購入してください。	日商簿記2級 商業簿	記 Ver.12	2.0 『TAC出版	、2017年。
関連科目	簿記入門、簿記原理、原価計算論A·E	B、管理会計論A•B、	財務諸表	論、監査論A•E	3, 経営分析

授業の目的	会社簿記では、簿記入門および簿記原理の知識と技能を土台として、株式会社における簿記を理解し実践できるレベルを目指します。具体的には、日商簿記検定2級商業簿記の合格水準に到達することを目標とします。一般的に日商簿記検定2級は、企業が経理や財務担当者に求めるレベルと言われていますので、資格取得は社会人になった時に自身の強みとすることができますし、就職活動にも有利に働くと考えられます。
授業の概要	株式会社特有の取引の会計処理、および連結財務諸表の作成について学習します。簿記入門・ 簿記原理と同様に演習を重視します。 また、一定範囲の学習ごとに習熟度の確認テストを実施します。結果については、次の授業でコ メントします。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週:簿記一巡の手続き	
簿記入門および簿記原理で学習した簿記一巡の流れを復習しながら、簿記の全体像を 再確認します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第2週:損益計算書と貸借対照表	
損益計算書と貸借対照表の構造を理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第 3 週:商品売買	
商品売買の処理(分記法・売上原価対立法・三分法)と返品・値引・割戻しの処理について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第 4 週:商品売買	
割引の処理、期末商品の評価について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第5週:現金および預金	

現金の概念、当座預金の調整の処理、銀行勘定調整表の作成について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第 6 週:債権・債務	
手形債権・債務、クレジット売掛金、電子記録債権・債務、債務保証の処理について理解 します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第7週:有価証券	-
有価証券の概念、株式・公社債の購入と売却、有価証券の期末評価の処理について理 解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第8週:有形固定資産	
有形固定資産の購入と減価償却について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第9週:有形固定資産	†
固定資産の割賦購入と建設仮勘定など有形固定資産の諸論点について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第 10 週:リース取引	
リース取引の概念と処理について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第11週:無形固定資産等と研究開発費	-
無形固定資産、ソフトウェア、投資その他の資産、研究開発費の処理について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第12週:引当金	
貸倒引当金とその他の引当金について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第13週:外貨換算会計	-
為替換算と外貨建取引の処理について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第14週:税金	
税金の分類と処理について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第15週:株式の発行	+
株式会社における株式の意義と処理について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第16週: 剰余金の配当と処分	
剰余金の配当と処分の意義と処理、株主資本等変動計算書について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第17週:決算手続	-
決算手続の全体像と精算表の作成、勘定の締め切りについて理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第18週:決算手続	
機益計算書と貸借対照表の作成、月次損益の算定と決算整理仕訳について理解します。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第19週:収益•費用の認識基準	+
収益・費用の計上原則と商品販売業とサービス業における処理について理解します。	ー テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)

伝票の意義と三伝	票制、帳簿への転記について理解しま	ॱ च 。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第21週:課税所得	の算定		
課税所得の算定と	処理について理解します。		テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第22週:本支店会			
本支店会計の意義	と内部取引の処理について理解します	τ 。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第23週:本支店会	:計		-
本支店会計の決算	手続について理解します。		テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第24週:合併と事	業譲渡		
合併と事業譲渡に任	弋表される企業結合の処理を理解しま	: च 。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第25週:連結会計	-		
連結財務諸表の意	義と作成方法、特徴について理解しま	ं च 。	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第26週:連結会計	•		
支配獲得日の連結	、投資と資本の相殺消去を理解します	- o	テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)
第27週:連結会計	-		-
支配獲得後の資本連結の処理、連結精算表の作成を理解します。		テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)	
第28週:連結会計	-		
成果連結の意義と内部取引高および債権・債務の相殺消去について理解します。		テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)	
第29週:連結会計	-		
未実現損益の消去について理解します。		テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(1h・1h)	
第30週:総括			
講義全体の総括と演習を行います。		テキストの記述部分の読み 込みと設例の反復(2h・2h)	
第31週:期末試験	<u> </u>		
	、 容を試験範囲とします。筆記用具、電	卓以外は持ち込み不可です。	
	(1)授業の形式	「演習等形式」	
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式		
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目	I
地域志向科目	カテゴリー 皿:地域における課題	解決に必要な知識を修得す	⁻ る科目
備考			

〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心·意欲·態 度】	簿記・会計の意義を理解し、演習に対して積極的に取り組んでいること。 	
【知識・理解】	日商簿記検定2級相当の知識を身に付けていること。	

【技能・表現・コミュニ ケーション】	日商簿記検定2級相当の技能を身に付けていること。
【思考·判断·創 造】	株式会社会計における取引の特徴を理解して、会計処理を考察できること。

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。			10	点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	25点	10点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	35点		10	点
【 思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。			10	点

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)	事後課題について積極的に取り組んでいるか、知識を身に着けているかを評価します。	
754X CV/16	授業中に実施する演習に対して積極的に取り組んでいるか、技術を身に付けているかを総合的 に評価します。	